

(2008. 11. 17)

発行：島根大学男女共同参画推進室

---

みなさん、こんにちは！

ひと雨ごとに秋の深まりを感じる今日この頃。島根大学松江キャンパスの銀杏の木々たちも、きれいに色づきましたね。少し冷たい空気の中、キャンパス内を散歩してみるのもいいですね。

---

☆多忙な時期の女性研究者に、研究支援員を配置します！12月1日まで申請受付中！

---

出産・育児や介護のため、家族と離れて生活しているため、学外や学内の委員会で女性研究者としての責任を果たすため・・・など、多忙な時期の女性研究者を支援する新しい制度が始まります。これは、大学が雇用した研究支援員が、各女性研究者のところに配置されて、研究の補助業務を行うものです（支援員の人選は研究者側で行うこともできます）。

12月1日まで、制度の利用申請を受付中です。

くわしくは、島根大学ホームページの教職員向け情報（ArcWizShare）の 01 教職員向け情報>01 お知らせ>男女共同参画推進室からのお知らせ>研究支援員制度についての中の研究支援員配置応募要項をご覧ください。または、男女共同参画推進室（教育学部棟G階、内線:2371, e-mail : kyodo-sankaku@edu.shimane-u.ac.jp)まで、お問い合わせください。利用申請締切は12月1日です。

#### （制度概要）

次のような理由で、研究時間の確保が困難な、女性教員・研究員が対象です。(1)出産、育児(小学生以下)、(2)家族の介護、看病、(3)家族と離れて暮らし二つの家を行き来している(4)女性であるために学内・学外の委員を委嘱され、負担が重い。これ以外の理由でも考慮される場合がありますので、お問い合わせ下さい。

理系分野、もしくは文理融合分野の研究テーマについて、支援員の配置を希望する方に限りません。平成21年度以降の募集については、文系分野についての募集も検討中です。平成20年12月15日～平成21年3月31日の期間で、月36時間を上限に配置します。

---

☆11/1より、女性支援カウンセラーが着任しました。

---

出雲キャンパスの女性スタッフ支援室と連携して、松江・出雲両キャンパスに、研究業務に知見・経験を持つカウンセラーによる女性の悩みについての相談窓口を新たに設置しました。

大西俊江特任講師

山下由利子特任講師

田中千富美特任講師

草野知子特任講師

以上の4名で松江・出雲両キャンパスでカウンセリングをおこないます。

出雲キャンパスの申し込みは、決まり次第お知らせいたしますので今しばらくお待ちください。松江キャンパスの申し込みは、男女共同参画推進室に、電話もしくはメールでお申し込みください。相談内容に関しては、秘密を守りますので安心してご相談ください。相談時間は原則として1時間とします。

申込先—男女共同参画推進室（教育学部棟G階）—

TEL： 0852-32-9766（内線:2371）

e-mail：kyodo-sankaku@edu.shimane-u.ac.jp

---

☆格差社会の問題をジェンダー視点から考える講演会を、松江市と共催します。

---

11月28日（金）14：30から松江キャンパスにおいて、朝日新聞編集委員の竹信三恵子氏をお招きし、島根大学男女共同参画推進室と松江市との共催の講演会を開催します。みなさまのご参加をお待ちしています。

「女性の貧困はなぜ見えない？ ～ワーキングプア問題とジェンダー～」

- 講師 竹信 三恵子 氏（朝日新聞編集委員）
- 日時 2008年11月28日（金） 14:30～16:00
- 場所 島根大学 教養講義室棟1号館 100番教室
- 参加費無料
- 主催 島根大学 男女共同参画推進室 松江市男女共同参画センター
- 講師プロフィール

竹信 三恵子 氏（朝日新聞編集委員）

経済部記者、シンガポール特派員、学芸部次長などをへて2007年4月から編集委員（労働・ジェンダー担当）。05年まで内閣府男女共同参画会議専門委員。少子化と女性労働、非正規労働者と貧困、ワークライフバランスなどくらしと労働の接点について問題提起を続ける。主著に「ワークシェアリングの実像」（2002年、岩波書店）など。

---

☆室スタッフ紹介

---

高安克己（たかやす かつみ） — 室長 —

島根大学男女共同参画推進室の設置にあたり、図らずも室長を拝命いたしました。任期は来年3月末まで、ということで、推進室の立ち上げに必要な人の配置や制度整備など、これから事業を本格展開するための形づくりが当面の与えられた任務と心得ております。

ご承知のように、平成17年12月に閣議決定された第2次男女共同参画基本計画では、第3

期科学技術基本計画ともリンクしながら、新たに取り組むべき分野として科学技術を取り上げ、他国から大きく遅れをとったこの分野の男女共同参画を国を挙げて推進することになりました。島根大学でも本年度から文科省科学技術振興調整費の支援を受けた「女性研究者支援モデル育成プログラム」がスタートしましたが、このプログラムを主体的に推進していくエンジンになるのが男女共同参画推進室です。

本学が計画しているプログラムでは、「空間 ～ユビキタスで距離を超える～」 「時間 ～研究の時間・家庭の時間を作り出す～」 「人間 ～研究する人間を育て、支える～」 の3つの観点から女性研究者が生き生きと研究ができる環境作りを構築することとしております。この事業を実効性のあるものにしていくためには、本学構成員の方々のご理解とご協力が不可欠であることは言うまでもありませんが、日常的な生活の場としての地域社会においても、様々な形でご協力をいただくこととなります。そこには都市部の大学とそれを取り巻く社会とはまた違った状況も想定されるわけですが、我々は粘り強く確実に事業を進め、「地方から開く女性研究者の未来」を切り開いていきたいと考えています。

幸い、推進室のスタッフは元気のいい方ばかりで、いつも明るい会話と笑い声が部屋中に満ちています。女性ばかりでなく男性職員の方も気軽に推進室においでいただき、共同参画のあり方などについて忌憚のないご意見をお聞かせください。本事業を進めていく上で最も大切なことは、日常的なコミュニケーションだと思っています。

清末愛砂（きよすえ あいさ） — 専任講師 —

1972年大分県生まれ。大阪大学大学院国際公共政策研究科助手・助教を経て、2008年10月1日より現職に着任しました。専門はジェンダー法学（女性に対する暴力）、社会調査法、パレスチナ難民女性のオーラル・ヒストリーです。主な著書には、『母と子でみる パレスチナ非暴力で占領に立ち向かう』（草の根出版会、2006年）、「そこはシャヒードたちの墓だった—イギリス植民地主義と『対テロ戦争』」、木戸衛一編著『「対テロ戦争」と現代世界』（御茶の水書房、2006年）、「ジェンダー」、高阪章編著『国際公共政策学入門』（大阪大学出版会、2008年）などがあります。

学会・社会活動として、日本女性学会幹事、アジア女性資料センター運営委員、NPO 前夜の運営委員、パレスチナの平和のための関西連絡会共同代表、および非暴力平和隊・日本の理事他を務めています。趣味は料理、美味しいものの食べ歩き、ヴァイオリン演奏、猫遊び。芸術の社会的力を信じながら楽器に触れています。自他とも認めるアラブ・イスラム文化フリーク。研究や社会活動を通して学んだ男女共同参画の知識をいかして、島根大学での業務を進めていきたいと思っています。よろしくお願ひいたします。

石橋 真寿美（いしばし ますみ） — 技術補佐員 —

現在、JST 事業に係る資料作成や、ホームページのメンテナンスサポートをしています。まだまだわからないことばかりで、少しずつ勉強をしていきながら、男女共同参画推進事業のお手伝いを務めて参りたいと思います。みなさまの一層のお力添えとご理解をいただきますよ

う、よろしくお願いいたします。

先日、庭のプランターにほうれん草の種をまきました。12月中旬には収穫して、あったかい「ほうれん草鍋」を食べるのが楽しみです！

多久和 由紀子（たくわ ゆきこ） — 技術補佐員 —

主に、ホームページの作成・更新、チラシの作成など技術補佐員として室のサポートをしています。至らない点が多々あると思いますがどうぞよろしくお願いいたします。松江の街並みが大好きで、天気の良い日は堀川の周りをよく散歩しています。とっても気持ちが良いですよ。

～客員教授としてお招きしている澤先生についてご紹介します～

澤 アツ子（さわ あつこ） — 客員教授 —

昨年3月まで40年間、島根県職員として勤務。県立高校事務、人事課、自治研修所での県職員・市町村職員研修の企画や講師経験、人事委員会事務局での職員採用、任用・新たな試験制度づくり、県立短大での学務厚生課長、女性政策室長の時「島根県男女共同参画計画(しまねパートナープラン21)」策定に関わる。その後、県女性相談センター所長とあすてらす事務局局長を兼務して、計画策定後の男女共同参画社会を目指した環境づくり推進の事業実施を市町村、女性団体、地域の方々とともに進める。そして、県教育委員会の生涯学習課長として社会教育、生涯学習行政に関わり、昨年4月からは、21世紀職業財団島根事務所長として勤務。

島根大学のこれまでの取り組んできた実績とともに、私が地域社会で関わってきた多くの方々との関係を大切にしながら、大学を取り巻く外部と連携し、先進的な地方大学型の女性研究者支援のしくみづくりを島根大学から全国に先がけて開発するために、全力を注いでいきたい。関係者の皆様とともに、全学を挙げて取り組み、目標の達成を目指す。「ひととともに 地域とともに 島根大学」の一事例にしたいと願っている。

---

☆島根大学男女共同参画推進室 開室式を行いました

---

島根大学男女共同参画推進室開室式を、10月22日（水）10：00より行いました。本田学長、高安室長（学術国際担当副学長・理事）の挨拶のあと、男女共同参画推進室の看板を上掲し、島根大学男女共同参画推進室の本格的なスタートとなりました。学内外の関係者26名が参加し、和やかに開室式を行うことができました。今後ここを拠点とし、男女共同参画推進事業・女性研究者支援事業を展開してまいります。お忙しい中、ご参加いただいたみなさま、ありがとうございました。

---

このメールマガジンに関するご質問・ご意見は

kyodo-sankaku@edu.shimane-u.ac.jp

までお願いします。

---

★ お願い ★

このメールマガジンは、島根大学の構成員全員にお伝えしたい内容を掲載しております。allstaff宛のアドレスにお送りしていますが、学部によっては講座の 代表者のかたにしか届かない設定がされているところがあるようです。そのような設定の講座等におかれましては、代表のかたが講座内のスタッフ 全員に転送・配信下さいますようお願いいたします。また、PC環境にないスタッフがおられる講座等では、たいへんお手数ですが、プリントアウトして回覧していただければ幸甚です。

---